

企業立地促進条例のご案内

(市民雇用・市内発注 編)

横浜市では、「横浜市企業立地等促進特定地域における支援措置に関する条例（企業立地促進条例）」を制定し、特定地域において一定の条件を満たす事業計画を実施する方に対して、市税の軽減措置や助成金の交付を行っています。このほか、本事業計画を実施するにあたり、市民雇用者の人数や市内企業への発注について一定の条件を満たした場合には助成金を上乗せします。

対象期間：2016年11月1日から2018年3月31日まで
(上記期間内に事業計画書を提出した方が対象となります。)

【市民雇用に対する助成金】

1 支援内容

次表に基づき、**市民雇用者数に応じて**助成金を交付します。

市民雇用者数		助成金額	市民雇用者数		助成金額
1人以上	9人以下	500,000円	60人以上	69人以下	30,000,000円
10人以上	19人以下	5,000,000円	70人以上	79人以下	35,000,000円
20人以上	29人以下	10,000,000円	80人以上	89人以下	40,000,000円
30人以上	39人以下	15,000,000円	90人以上	99人以下	45,000,000円
40人以上	49人以下	20,000,000円	100人以上		50,000,000円
50人以上	59人以下	25,000,000円			

2 要件

事業所等の建設・取得、又はテナント本社・研究所の設置に係る事業計画が認定され、助成金の交付や市税の軽減を受けることとなった事業者（以下「認定事業者」といいます）は、次の要件に該当する市民雇用者数に応じて助成金を受けることができます。（※賃貸ビル、賃貸工場、賃貸研究所の建設の事業計画は当助成金の対象外となります。）

次の要件の両方を満たす場合に対象となります。

【要件1】 下記算定期間の起算日から基準日の間で「**新たに雇用した横浜市民**」及び「**新たに横浜市民となった者**」（※算定期間の起算日より前から引き続き横浜市民で、市外の事業所から認定事業計画における市内の事業所等に異動した方などは対象外です。）

【要件2】 下記算定期間の基準日において、認定事業計画に従事する横浜市民

① 「算定期間」について

- (1) **起算日**：次のうち、いずれか遅い日
 - ・ 事業を開始した日の1年前の日
 - ・ 企業立地等事業計画を提出した日
- (2) **基準日**：起算日から3年を経過した日の属する事業年度の末日

② 「市民雇用者」について

基準日において、認定事業計画に従事する横浜市民のうち、次のいずれかに該当する者

- ・ 期間の定めなく雇用されている者
- ・ 労働契約の期間が1年を超えている者（短時間労働者は除く）
- ・ 連続した労働契約の期間が合計で1年を超えている者（短時間労働者は除く）

【事業年度＝4月～3月の場合の例】

2015			2016			2017			2018			2019																
11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
○ 企業立地等事業計画提出												○ 事業開始						市民雇用者数の報告 ○										
● 起算日(事業開始の日の1年前(※))												● 基準日(起算日から3年を経過した日の属する事業年度の末日)																
事業年度					事業年度					事業年度					事業年度													
「新たに雇用した者の人数(A)」+「新たに横浜市民となった者の人数(B)」=市民雇用者の人数(基準日に認定事業計画に従事している者)																												
(※)事業開始の日の1年前より、企業立地等事業計画を提出した日が遅い場合は、企業立地等事業計画を提出した日が起算日となります。																												

(A) 30人
+(B) 20人
= 50人

3 要件の確認

基準日においてご提出いただく「市民雇用者数報告書」、「市民雇用者数の内訳書」及び下記の添付書類にて確認します。

〈添付書類〉

- ・ 住民票（住所および新たに横浜市民になった日を確認します。）
※個人番号（マイナンバー）は、国・地方公共団体等において、社会保障・税・災害対策の分野でのみ利用されます。法律で定められた行政手続き以外での利用は出来ません。
- ・ 事業所別被保険者台帳（雇用関係を確認します。）
- ・ 個人情報の横浜市への提供に関する同意書の写し（該当者全員分、要押印）

【市内発注に対する助成金】 ※ 事業所の建設を行う認定事業者が対象

1 支援内容

投下資本額のうち、家屋・償却資産の取得費等の1%に相当する助成金を交付します。

2 要件

認定事業者は、次の要件を満たした場合に支援を受けることができます。

投下資本額のうち、家屋・償却資産の取得費等について

①

【要件1】 市内事業者 への発注額の割合が2分の1を超えていること

②

【要件2】 市内事業者への発注額が10億円以上（中小企業者は1億円以上）であること

① 「家屋・償却資産の取得費等」について

- ・ 家屋については、新築・増築する場合の費用が対象となり、既存家屋の取得に係る費用は対象外となります。
- ・ 既存家屋内の設備など、既存家屋と同時に（同一の契約で）償却資産を取得する場合は、当該償却資産も対象外となります。

② 「市内事業者」について

横浜市内に本店等の主たる事務所を有する事業者をいいます。

（※市内で事業を営む事業者であっても、本店等の主たる事務所が市外にある事業者の支店や営業所等である場合は対象外となります。）

3 要件の確認

投下資本額の確定の際、市内事業者への発注額や発注割合を確認します。

なお、投下資本額の確定にあたり、ご提出いただく証憑書類は下記のとおりです。

- ・ 契約に関する書類の写し（見積書、契約書など）
- ・ 納入に関する書類の写し（納品書など）
- ・ 支払いに関する書類の写し（領収書、銀行等が発行する振込明細表など）
- ・ その他確認のために必要な書類

<お問い合わせ先>

○ みなとみらい21地域、横浜駅周辺地域、関内周辺地域、新横浜都心地域、港北ニュータウン地域
横浜市 経済局 誘致推進課 TEL：045-671-2594

○ 京浜臨海部地域、臨海南部工業地域、内陸南部工業地域、内陸北部工業地域
横浜市 経済局 産業立地調整課 TEL：045-671-2590

〒231-0017 横浜市中区港町1-1

URL：<http://www.city.yokohama.lg.jp/keizai/yuchi/support/>

